

第2回利府町震災復興計画策定委員会 開催結果

- 1 開催日時 平成23年8月19日（金）
午前10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 町民交流館研修室
- 3 出席委員数 13名

- 4 委嘱状交付
新しく委員となった1名に対し、委嘱状の交付を行った。

5 協議内容

(1) 利府町震災復興基本方針（案）について

「利府町震災復興基本方針（案）」について協議を行った。

《主な質疑事項》

Q 浜田・須賀地区の地盤沈下等について検討するということだが、検討ではおぼつかない状態になっている。早く対応してもらいたい。

A 一日も早い復旧を願う地域の要望は把握しているので、できるだけ早く対応できるよう、関係課の方と調整を取って対応したいと考えている。

Q 復興計画の中に特別名勝の規制緩和について記載がある。町は特別名勝や農地の規制緩和にどう取り組んでいるのか。

A 本町は特別名勝の規制において、現状を見直すよう強く申し入れている。引き続き要望していく。

また、本町は町域の4分の1が農業振興地域に指定され規制を受けている。これについても、町の発展のバランスを考慮して柔軟に考えて欲しいと農業サイドに要望を行っている。他市町とも連携して規制緩和に取り組むことが必要だと考えている。

Q 須賀については集会所の機能を備えた高台避難所が必要と考える。

A 災害時の一番の行動が避難であり、特にどこが安全なのかと情報を発信することが一番重要だと考える。今後、関係各課と前向きに最優先で取り組んでいきたい。

Q 放射能の風評被害の問題で農作物への影響が懸念される。梨は利府にとって重要な基幹産業であるので、測定結果が出なかった場合は県、町のお墨付きの看板をもらって販売したいという意向があった。

A 安全な結果が出ればホームページなどの媒体を使ってPRしていきたい。

(2) 転入者に対するアンケート調査結果について

震災後に被災地から本町に転入された世帯を対象に行ったアンケートについて協議を行った。

- ・被災前の居住地：仙台市、石巻市、多賀城等近隣市町村が約40%、遠くは石巻、気仙沼。
- ・将来の居住意向：将来的にも住み続けたいが37.1% 新たな住宅を取得したいが14.9%等 あわせて58.7%が利府町内に定住意向。
- ・今後のまちづくり：災害に強いまち、防災への備え、子供の教育環境、高齢者世帯は高齢者支援と言う傾向

(3) 住民意向調査について

8月10日から22日にかけて実施した住民意向調査について協議を行った。

- ・8月10日に郵送配布を開始。①全町民約12,000世帯のうち3,000世帯を無作為抽出し実施するものと②浜田・須賀地区全戸の調査。
- ・8月22日締め切り。中間結果を8月末までに集計し、締め切り以降は随時修正する予定。

(4) (仮称) 利府町震災復興計画骨子(案)について

復興計画の構成案等について協議を行った。

《主な意見》

- ・防災のあり方が大切だと考える。教科書通りの防災対策ではなく、浜田・須賀のように立地条件によって対応策が変わってこなければならない。
- ・国の方針がでていない状況なので難しいと思うが、地盤沈下や住み替えをしなければいけない地域の方々に、なるべく早めに町としての方針を決めて先に対する希望がもてるようにしてもらいたい。